

2019年10月30日  
東京ガス株式会社

2019年度（2020年3月期）第2四半期決算発表説明会

Q&A

Q 1：第2四半期における電力の獲得件数とガスのスイッチング件数はどのような評価をしているのか。

A 1：夏のキャンペーン効果により、申し込みベースでは電力の獲得件数がガスのスイッチング件数を上回った。

Q 2：見通しにおいて都市ガスのスライド差益が対前回見通しと比べて減少している理由はなぜか。

A 2：売価に反映される上期のJLCが、安価に推移するスポット価格の影響から低下したことと、大口のお客さまなどのガス販売量減少により、当社のLNGスポット比率が全日本に比べて低かったことによるもの。

Q 3：減損損失の理由は何か。

A 3：海外上流プロジェクトにおいて、当社が参照する将来の原油価格見通しが低下したことにより、将来キャッシュフローが減少し、当社の用いる減損認識の基準を下回ったため計上したもの。なお、埋蔵量・生産性評価に起因するものではない。

以上